

報道関係者 各位

野原グループ株式会社

「DfMA シンポジウム vol.2 -リア・ローディングからの脱却-」開催のご案内
主催 SIT 総研 グローバル建築技術研究センター (GBTRC) 協賛 野原グループ株式会社
一般聴講可能・参加費無料(メディア取材も可能)

～2026年4月18日(土) 13時開始、芝浦工業大学 豊洲キャンパス 交流棟 大講義室にて～



BuildApp (ビルドアップ) で建設DXに取り組む野原グループ株式会社(所在: 東京都新宿区、代表取締役社長: 野原弘輔)が協賛、芝浦工業大学 SIT 総研 グローバル建築技術研究センター (GBTRC) 主催の「DfMA シンポジウム vol.2」が2026年4月18日(土)に芝浦工業大学 豊洲キャンパス 交流棟 大講義室にて開催することをお知らせします。

日本の建設業界は「技能労働者不足」や「残業規制適用の影響」など様々な問題を抱えており、施工のあり方そのものを見直す時期に差し掛かっております。DfMA シンポジウムは、その解決策のひとつとして「DfMA: Design for Manufacturer and Assembly」の取り組みに焦点を当て、専門家や実践企業を招き、シンポジウムを開催しております。

今回が3回目の開催となり、前回(2025年4月開催より名称変更)は「実施設計段階における生産技術の関与」をテーマに開催し、設計段階における生産技術における共通課題の整理を試みました。

今回(vol.2)は主題を「リア・ローディングからの脱却」とし、フロント・ローディング実現への工夫や課題、そしてDfMAの本質に迫ります。

また今回のシンポジウムには当社よりグループCSO 山崎も登壇し、2026年2月26日より商用提供を開始した「BuildApp 建具 製作図・バラ図運動サービス」の事例の紹介と共に、BuildAppにおける製作加工連携の取り組みをご紹介します。

■ 「DfMA シンポジウム vol. 2」について

イベント名	DfMA シンポジウム vol. 2 ーリア・ローディングからの脱却ー
主催者	芝浦工業大学 SIT 総研 グローバル建築技術研究センター (GBTRC) 【WEB サイトは こちらをクリック 】
協賛&講演	野原グループ株式会社
開催日時	2026年4月18日(土) 13:00~18:00 (※当日受付時間/12:30~13:00)
会場名	芝浦工業大学 豊洲キャンパス 交流棟 大講義室 〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7-5 https://www.shibaura-it.ac.jp/about/facility/toyosu_campus.html
実施内容	<p>プログラム</p> <p>13:00~13:10 開会の挨拶：GBTRC センター長 / 芝浦工業大学教授 蟹澤 宏剛</p> <p>13:10~13:40 趣旨説明：東洋大学准教授 田澤 周平</p> <p>13:40~14:20 講演①：株式会社安藤・間建築事業本部 BIM 推進部 施工 BIM グループ 岩倉巧、長田開気 「BIM と製造 CAD の連携による基礎梁 PCa の製作図作成ワークフローの効率化」</p> <p>14:20~15:00 講演②：株式会社長谷工コーポレーション エンジニアリング事業部 DX 推進室 室長 中野達也 「設計施工におけるフロントローディングの3類型」</p> <p>15:00~15:40 講演③：株式会社カワト T.P.C 代表取締役会長 川戸俊彦、新規開発担当 田中聡 「BIM を用いた建築業のプレハブ組立と働き方改革推進サポート」</p> <p>15:40~16:20 講演④：野原グループ株式会社 グループ CSO 山崎 芳治 「BuildApp における製作加工連携の取り組み」</p> <p>16:20~16:35 休憩</p> <p>16:35~17:45 パネルディスカッション コーディネーター ・前田建設工業株式会社 建築生産技術部 担当部長 曾根巨充 ・東京電機大学教授 小笠原正豊</p> <p>17:45~18:00 クロージング：GBTRC 副センター長 / 芝浦工業大学教授 志手 一哉</p>
申込/応募方法	こちらよりお申込みいただけます (期限：2026年4月18日12:30まで)
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般聴講可能・無料 2. 報道関係者による取材も可能 (以下申込フォームよりお申込みください)

■ 報道関係者による取材のお申込み

ご参加いただける場合は、2026年4月17日(金)12:00までに、お申込みフォームへの入力でのお申込みをお願いします。

以下の URL のクリック、または右の QR コードをスマートフォンでの読み取りでフォーム画面に遷移します。

<フォーム URL> <https://forms.gle/DtXjR2p7HjH1ePS46>



グローバル建築技術研究センター（GBTRC）とは

我が国の建築産業は、担い手不足、労働生産性の低位推移、余剰ストックの増加など構造的な問題を多く抱えています。これらの課題解決には、産業の仕組みや法制度、各種マネジメントの方法論など、所謂、建築生産システム分野を全般的かつ統合的に研究する体制が必要です。しかし、このような取り組みの受け皿となり得る大学や研究機関は日本にほとんど存在しないのが現状です。

「グローバル建築技術研究センター」は、日本の建設産業が抱える諸問題の体系的な整備と処方箋の早期立案を目的に、世界の建築生産システム分野の研究をリードする拠点として設立されたものです。

BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム「BuildApp」について ※登録商標取得済み



建設プロセスに、革新と未来を。

「BuildApp（ビルドアップ）」は、設計事務所やゼネコンが作成した BIM 設計データをより詳細なデータに置き換え、各建設工程で必要なデータとして利活用し建設工程全体の生産性向上を実現するクラウドサービスです。設計積算から製造・流通・施工管理・維持管理までを BIM でつなぐ複数のサービスにより、各プレイヤーに合わせたサービスを提供します。そして、設計・施工の手間・手戻りをなくし、製造・流通を最適化して、コスト削減と廃棄物・CO2 削減に貢献します。

「BuildApp」は、建設サプライチェーンの抜本的な効率化と未来へ繋がる成長をサポートし、皆さまと一緒に建設業界をアップデートしていきます。



私たちが BuildApp で実現したいこと

- ・ BIM 起点のデータで建設関係者を繋いで連携を生む
- ・ 工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消する
- ・ DX による生産性向上や廃材・CO2 排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーンを変革し、「建設 DX で、社会を変えていく」

BuildApp の新サービス「BuildApp 内装 建材数量・手配サービス」が2月より商用提供開始

「BuildApp 内装 建材数量・手配サービス」は、建材発注数量の算出や施工情報の自動アウトプットができる内装仕上工事向けのサービスです。

BIM で内装仕上工事に必要な建材手配に関わる業務を効率化し、無駄を省いた効率的な材料手配を実現します。

2025年2月3日より商用提供を開始し、「建築プロジェクトで BIM 化が遅れている内装仕上工事」を情報マネジメントの観点から変革する第一歩を踏み出しました。

サービス第一弾！



<お問い合わせ先>

BuildApp WEB	https://build-app.jp/
お問合せフォーム	https://build-app.jp/contact/

野原グループ株式会社について

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。



建設DXで、社会を変えていく

社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量やCO2の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原グループ株式会社

マーケティング部 ブランドコミュニケーション課（担当：森田・高橋）

E-Mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp